

## 第2回のテーマ：SNSは使っているのか、使わされているのか

### 問題意識：

普段、何気なく使っている SNS。もはや日常にないといけないと感じる人も多いと思われるが、「SNS疲れ」という言葉を耳にすることが増えたのも事実。

メディアが発達し、リテラシー能力が試される中、何を信じ何を疑うかも大事ではあるが、そもそも私たちは SNS を自らの意思で”使っている”と言えるのだろうか。

事あるごとに人間はスマホを開くが、SNS によって人生を狂わされる、あるいは操作されている、そんな感覚を一度は覚えたことがないだろうか。

行動目的の動機が「SNSに上げたいから」について考えてみたい。

(学生 A さんから)

### 西田幾多郎（1870–1945）

歴史的世界に於ては、いつも歴史的主体といふものと環境とが対立する。環境が人間を作り、人間が環境を作ると考へられる如く、世界が世界自身を弁証法的に形成して行くのである。（中略）現実は何処までも固定せられたものでなければならぬ。その方向に於て、それは何処までも環境である。併し現実は何処までも自己否定的であり、自己を超えて自己を限定し行く。この方向に於て、それは主体的である。主体が環境に対し、環境が主体に対し、環境が主体を作り、主体が環境を作る。かかる弁証法的自己同一として、現実といふものがあるのである。（全集八、p.162）

### ディスカッション・ポイント

- 「環境が人間を作り、人間が環境を作る」
- あらゆる行動の「主体」は？
- 「現実」とは？

テーマを随時募集！気軽に！意見・リクエスト・感想など

- ⇒ メール：pasca-r@kanda.kuis.ac.jp または
- ⇒ 意見箱@日本研究所 1号館3階1323号室（匿名投函 OK）